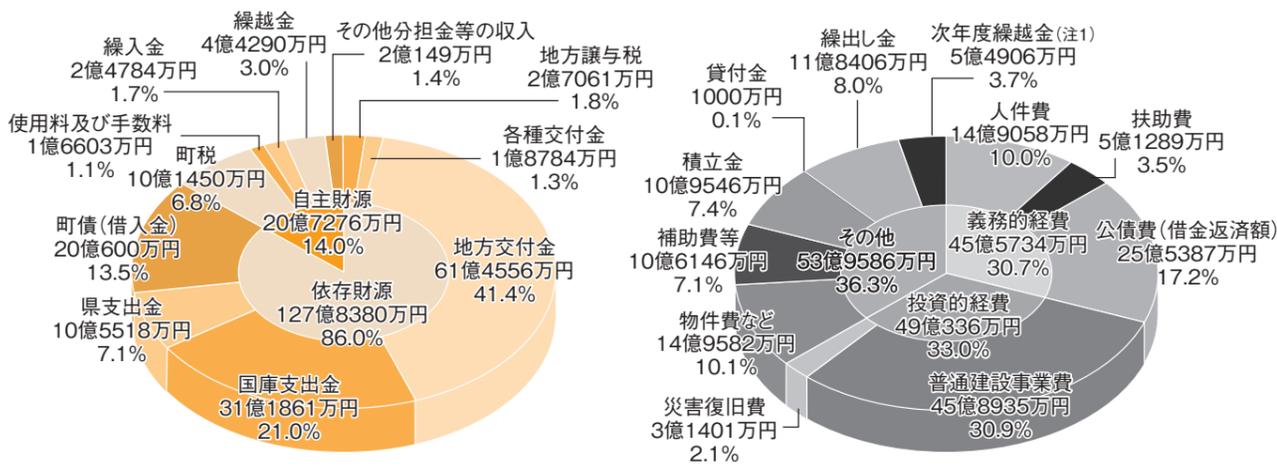


# 全会計を黒字で繰越

## 平成22年度 一般会計 決算比較表



(注1：繰越される事業の財源5266万円を含みます。)

歳入 合計：148億5656万円

歳出 合計：143億749万円

## 決算総額192億8640万円

### 平成22年度 収支決算総括表

単位：万円(四捨五入)

会計名	歳入	歳出	明許繰越	差引残高
一般会計	148億5656	143億749	5266	4億9641
国民健康保険	12億2904	11億7875		5029
後期高齢者医療	4億2596	4億820		1776
老人保健	584	441		143
介護保険	18億762	17億8490		2272
簡易水道事業	3億8561	3億7005		1556
飲料水供給施設事業	4243	4059		184
農業集落排水事業	2億5370	2億4706		664
総合開発事業	1億4636	1億4636		
分収育林事業	3	3		
病院事業会計	1億3324	1億3324		
合計	192億8640	186億2108	5266	6億1266

### 平成22年度決算審査意見書

審査に付された各会計関係諸帳簿は、関係法令に準拠して作成されており、その係数は正確に処理されており、ものと認められた。審査を通じて気付いた次の事項について検討いただき、町政執行に反映されることを強く望む。

- ① 3大プロジェクトについて  
37億円余を投じたハード事業が完了した。今後、維持管理費が経常費となる。健全な施設維持管理に努めること。
- ② 指定管理施設について  
管理委託料の算定が不明瞭な施設がある。管理委託料の適正化と効果の検証を望む。
- ③ 財政支援団体について  
一部に多額の繰越金が発生している。細かに検証がなされ、目的に沿った活動がなされるよう指導を望む。
- ④ 税等滞納処理について  
全体では減となっているが一部は前年度より増加している滞納額の対前年度比減を目標に取り組むこと。

神石高原町監査委員  
瀬岡 尾崎 征武 爾志

## 9月定例会

### 平成22年度決算を認定

9月定例会は、9月8日から、22日まで開かれました。今回の定例会(第2回)では、平成22年度一般会計ほか各特別会計、病院事業会計の決算を認定。平成23年度一般会計・特別会計補正予算(9月補正)、神

## 6億1266万円(全会計)の繰越

一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算の認定については、監査委員の意見書をそえて提案されました。平成22年度の予算について、適正に執行され、目的を達成できたかを主眼に慎重に審議し、本会議にて採決の結果、全員の賛成で各会計の歳入歳出決算を認定しました。

決算総額は、歳入で192億8640万円、歳出で186億2108万円となりました。平成21年度の決算と比べて歳出で24億5964万円の増加(15.2%)となっています。次年度に繰越し執行する事となった5266万円(明許繰越)を除き、6億1266万円が平成23年度会計へ繰り越され



賛成討論する村上委員長

各会計の歳入歳出決算の状況は、表のとおりです。

### 賛成討論

総務文教常任委員長 村上 克朗

合併以来、「三つの過剰」の解消に取り組みながらも、国庫の補助・交付金の有効活用により、「3大プロジェクト事業」である井関住宅団地整備、情報通信網整備事業、三和統合小学校建設事業が完了した。また基本となる財政数値も実質公債費比率をはじめ経常収支比率など大きく改善され、本会計を黒字で翌年に繰り越したことは高く評価される。人と自然が輝く神石高原町の実現のために、特に次の事項について神石高原町議会として決算に対する意見・要望を申し上げ、議案第121号平成22年度神石高原町一般会計歳入歳出決算認定における賛成討論とする。

- ① 「主要施設の成果に関する報告書」の中で、特に情報通信事業運用面、教育環境整備事業については、議員の意見・指摘を十分に参酌のうえ、解決に向けて、具体的・積極的な対応を行うこと。
- ② 引き続き効果的、効率的な行財政運営を目指し改善工夫されること。